



平成 27 年 11 月 12 日

各 位

上場会社名 **株式会社アマダホールディングス**
 代 表 者 代表取締役社長 磯 部 任
 (コード番号 6113 東証第一部)
 問 合 せ 先 専務取締役 阿部 敦茂
 電 話 番 号 0463-96-1111 (代表)

剰余金の配当（中間配当）の決定及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成 27 年 9 月 30 日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）を行うことを決議するとともに、平成 27 年 5 月 13 日に公表した平成 28 年 3 月期の期末配当予想につきましても、修正することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 剰余金の配当（中間配当）の内容

	当中間期決定額 (平成 27 年 9 月中間期)	直近の配当予想 (平成 27 年 5 月 13 日公表)	前年中間期実績 (平成 26 年 9 月中間期)
基準日	平成 27 年 9 月 30 日	同左	平成 26 年 9 月 30 日
1 株当たり配当金	16 円	同左	13 円
配当金の総額	5,843 百万円	—	4,849 百万円
効力発生日	平成 27 年 12 月 8 日	—	平成 26 年 12 月 8 日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 期末配当予想の修正内容

基準日	年間配当金 (円)		
	第 2 四半期末 (中間)	期 末	合 計
前 回 予 想	円 銭 16.00	円 銭 16.00	円 銭 32.00
今 回 修 正 予 想		18.00	34.00
今 回 決 定	16.00		
前 期 実 績 (平成 27 年 3 月期)	13.00	13.00	26.00

3. 当中間配当に対する考え方及び期末配当予想修正の理由

当社は、継続的な成長のための強固な経営基盤を構築し、企業価値の最大化を図っていく方針であります。このために、財務の健全性を維持しながら資本の効率性を高めていくことが重要だと考えております。当社は中期経営計画で収益体質の強化に取り組み、利益の最大化を目指しておりますが、同時に純資産額の増加を抑制し資本効率を高めていく方針であります。

この方針に基づき、当期は配当性向の目標値を50%程度としており、今回の中間配当につきましては当初の予定どおり前年中間期実績より3円増配の1株当たり16円と決定いたしました。

また、期末配当予想につきましては、上記の基本方針及び通期業績予想を踏まえ、当初の予想額より2円増額し、1株当たり18円（対前期末配当実績比5円増）といたしました。

(注) 上記の配当予想数値は、現時点において得られた情報に基づき算出したものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって変動する可能性があります。

以 上